

山梨県スポーツ推進計画素案に対する審議会意見と対応

資料 1

No.	意見	対応	
		該当箇所	内容
1	・今後ウィズコロナの中で、部活動や大会等を工夫して実施していくことが必要。	P 1 7 やまなし運動部活動ガイドラインに基づく取り組み	・生徒にとって望ましい運動部活動の環境を整えられるよう支援していく。
2	・P 2 2の関係団体の中に「県障害者スポーツ協会」を明示してほしい。	P 2 2 一人スポーツの推進	・「県障害者スポーツ協会」を加筆。
3	・発達障害のある全ての子供たちに向けた取り組みがない。皆が共生できるよう考えていかないといけない。	P 2 2 一人スポーツの推進	・「(県民)一人ひとり」を加筆。
4	・新型コロナに対応した今までと異なるスポーツのあり方を考えていく必要がある。例えば、家の中でできるスポーツを積極的に配信して周知してはどうか。	P 2 3 スポーツへの意識啓発	・「SNSを始めとした様々な媒体を活用し」を加筆。
5	・各スポーツ関係団体等がネットワーク化を促進する中で、活動の優良事例の共有やモデル化を図ることが大事。	P 2 3 スポーツへの意識啓発	・スポーツに対する意識の啓発に取り組む中で検討していく。
6	・身近にスポーツができる環境づくりが必要。	P 2 4 年齢・性別・障害者に対応した取り組み	・日常的にスポーツに参画できるよう検討していく。
7	・子供の時に、日常生活の中で楽しく自由に体を動かすことが、年齢を重ねても体を動かすことにつながる。子供が楽しく活動できるよう、スポーツの面白い部分を子供たちに展開していくと良い。	P 2 4 年齢・性別・障害者に対応した取り組み 「子供・若者向けの取り組み」	・「スポーツの楽しさを伝え」を加筆。
8	・スポーツを通じた高齢者の健康促進を図ってほしい。	P 2 4 年齢・性別・障害者に対応した取り組み 「高齢者向けの取り組み」	・スポーツを通じた健康づくりを図る中で検討していく。
9	・女性に人気のあるスポーツとしてヨガだけでいいのか。 ・一つのスポーツ名を入れるよりも、家族で楽しめる取り組みを「女性向けの取り組み」に入れてはどうか。 ・親子3世代では、祖父の参加が少なく、男性の方が運動していないように思う。	P 2 4 年齢・性別・障害者に対応した取り組み 「女性向けの取り組み」	・女性に人気のスポーツは複数想定されるので、個別のスポーツ名を削除。 ・女性だけではなく対象を広く捉えられるよう「親子など」を加筆。
10	・山梨県内で障害者のスポーツ大会がとても少ない。 ・健常者も障害者も一緒に参加できるような総合スポーツ大会の実施など、山梨県として共生社会に向けた取り組みが必要。	P 2 5 年齢・性別・障害者に対応した取り組み 「障害者向けの取り組み」	・障害のある方と障害のない方がスポーツを通じて交流する機会を充実し、共生社会の実現を目指す取り組みの中で検討していく。
11	・学校生活の中で、オリンピックやパラリンピックの競技と触れあう場面が必要。	P 3 3 オリンピック・パラリンピック教室の開催	・子供たちに競技を体験する機会を設ける取り組みの中で検討していく。
12	・サイクルスポーツ文化の定着の中で、トレーニングする場として境川自転車競技場の利用促進も視野に入れてほしい。	P 3 4 サイクルスポーツ文化の定着	・サイクルスポーツ文化の定着を図る取り組みの中で検討していく。
13	・オリンピック・パラリンピックの事前合宿を受け入れたことにより、トライアスロンの大会が開催されることになった。応援してほしい。	P 3 4 事前合宿地としてのステータス活用	・合宿を契機として競技団体等が行う大会やイベント等の取り組みを支援する取り組みの中で検討していく。
14	・スポーツだけに特化せず、自然や観光、サイクルスポーツなどの様々な県の施策を一体化しながら、山梨県らしいレガシーを残してほしい。	P 3 6 スポーツツーリズムの活用	・「山梨ならではの地域資源を活用したスポーツツーリズムを推進し」を加筆。
15	・スポーツの定義を具体的に示すなど、わかりやすくしてほしい。	P 4 3 用語の補足説明(資料編)	・記述の表現を変えるとともに、スポーツの具体例を増やし、「楽しみながら体を動かすこと」と修正。